

## 一般質問

※ 議長（篠田一彦）、副議長（芦原美佳子）、監査委員（さかえ章演）は、慣例により一般質問を控えています。



櫻井 直樹 議員



(動画配信)

### Q 不登校対応の非常勤教職員が配置されている？

昨年度10月から、各中学校に別室登校をサポートするための教職員を1名ずつ配置している

### Q 配置理由と勤務体制・勤務内容は？

① 教育長 不登校傾向にある生徒や学校に登校できても教室に入れない生徒など、校内体制を整備するために、別室登校をサポートする教職員を配置した。

勤務体制は、原則1日6時間、週5日勤務。勤務内容は、不登校や不登校傾向にある生徒への対応である。

Q この非常勤教職員は、不登校対応について、別室登校をサポートする教職員なので、効果的に活用したい。他の自治体では、専属の教職員を配置し、校内フリースクールとして、校内に不登校生徒の居場所づくりをしている。不登校生徒の居場所について、今後の方向性は？

① 不登校傾向などを含め、学校までは来ることができる生徒には、その居場所として教室以外の場所があることが何よりも大切である。

県内他市では、中学校内に不登校対応の学級を設け、専任の教職員を配置しているところもあることは承知している。今後、増え続けている不登校生徒の対応で、専任の教職員が必要となれば、追加で配置を考えていかなければならない。

### Q 小学校の教科担任制の現状は？

① 小学校教科担任制のために、今年度、本市には1名の教員が配置され、算数専科で実施している

### Q 小学校教科担任制の効果と課題は？

① 教育長 児童が、より専門的な授業を受けられ、学習内容の理解が深まることにつながる。さらに教員の持ちこま数の軽減や授業準備の効率化で、教員の負担軽減にもつながる。専科指導の専門性を担保するためにも専科教職員の配置が必要になる。国においても計画的な配置を進めていくことが示されているが、全校配置には至っていない。

### この項目のその他の質問項目

- ・専科教員について
- ・教員の確保について



秋田さとし 議員



(動画配信)

### Q 横断歩道橋の役割について

① 歩行者と車両を立体的に分離し、交通事故から身を守る手段として必要

### Q 横断歩道橋の維持管理について

① 都市整備部長 市が管理する横断歩道橋は、日常的に点検や清掃などを行い、大規模な修繕については、5年ごとの定期点検により維持管理計画を策定し、長寿命化を図っている。

### Q スクラブル交差点について

① 市民活動課主幹 関係機関との調整や地域の実情も含め調

査研究を進める。

### Q シルバーゾーン・ユニバーサルゾーンについて

① 市民生活部長 関係部局などと情報収集を行い、必要性を含め調査研究を進める。



### Q 民生委員・児童委員の活動について

① 支援を必要としている市民と行政や専門機関をつなぐパイプ役

### Q 人数について

① 健康福祉部長 男性約34%、44人、女性が約66%、86人で主任児童委員18名を含め現在

130名がいる。

### Q 訪問調査・相談内容について

① 高齢者の調査では、御自身の体調不良や家族の介護などがある。一人暮らしを心配する声もある。在宅福祉、健康・保健医療に関する相談が多くなっている。

### Q 課題について

① 年齢制限があり、本市は愛知県の基準に準じ、原則75歳未満、主任児童委員は原則55歳未満となっており後任がなかなか見つからない。

### その他の質問項目

#### ○新時代、小中学生の学校生活について

タブレット使用のルールについて

タブレットに悩み相談アプリ導入について

# 一般質問



市原 誠二 議員



(動画配信)

**Q** 子宮頸がん予防ワクチンを自費で接種した市民に対する支援を！

**A** 接種費用の償還払制度を準備し、自費で接種した方の支援を行う

**Q** 自費で接種した市民の方々に対する支援について

**A** 健康福祉部長 積極的な勧奨の差し控えにより、定期接種の対象年齢を過ぎて、ワクチンの接種を自費で受けた方が一定数いらっしゃる。このような方に対して、接種費用の償還払制度を準備し、自費で接種した方の支援を行う。

**Q** 市民に配慮した「償還払い」について伺う。

**A** 接種から年月が経過し、領収書等を紛失された方なども想定されるが、市民に配慮した償還払制度となるよう調整していきたい。

**Q** 審議会等の構成員を男女いずれも40%以上とすることについて

**A** 男性57.5%、女性42.5%であり県内で最も高い比率である

**Q** 尾張旭市男女共同参画推進条例に審議会などの構成員の男女比率を数字で規定すべきでは？

**A** 市民生活部長 今後も男女が偏りなく政策や方針決定の場へ参画できるよう目指していく。

**Q** 災害発生と同時に自動的に駆けつけるキッチンカーと連携すべき！

**A** 災害時に優れたものだと認識しており研究していきたい

**Q** 災害と同時に自動的に来て、温かい食事を持ってきていただけることが可能な、もう一つの選択肢を準備しておく必要があるのでは？

**A** 総務部長 市内でもキッチンカーを保有する事業者もある。地元事業者との連携協力も視野に入れながら、避難者に温かい食事が提供できるような仕組みを研究していきたい。



松原たかし 議員



(動画配信)

**Q** 仕事のしやすい環境整備について伺う

**A** 通年での軽装勤務の試行実施を検討したい

**Q** 我が国は「2050年カーボンニュートラル」を宣言したが、並大抵の努力では実現できないとの声も聞こえる。また、コロナ禍や円安、国際情勢の不安定化に伴う物価の高騰を受け、脱炭素化は一時棚上げすべきとの記事を目にすることも。しかし、地球環境の保全のためには、脱炭素社会に向け前進すべきであり、本市においても、「待った

なし」の対応が求められている。そうした中「クールビズ」は、大変重要な取組の一つとなる。

「働き方改革」の一環として、働きやすい服装での勤務を通年で実施するなど、仕事のしやすい環境を整え、仕事の効率化を図るべきだが、考え方を伺う。

**A** 企画部長 仕事のしやすい環境を整えていけるよう、年間を通した働きやすい服装での勤務について、本年度中に試行実施していくよう検討したいと考えている。

**Q** 良好な住環境の維持について伺う

**A** 市民通報システムの構築を進めている

**Q** どんなに素晴らしい政策や施策を進めても、道路が傷んで

いたり、雑草がはびこっていたりしては、「寂れたまち」というイメージを抱かれ、人口減少にもつながりかねない。各種インフラや、自然災害の状況把握において大変便利な「市民通報システム」について、その導入に向けた現状などを伺う。

**A** 都市整備部長 市民の皆様や、民間事業者の方々からの情報提供に、「市民通報システム」による手段を加えることは有効だと認識している。このため、今年の秋頃からの本格運用に向け、職員自らでシステム構築を進めている。



## 一般質問



谷口 武司 議員



(動画配信)

**Q** 主要21施設の令和4年度の高圧電力契約はどのようになっているか？

**A** 9月30日までの6か月間、最終保障供給契約を締結している。

**Q** 令和4年度入札の状況は？

**A** 総務部長 事後確認型制限付き一般競争入札を2月25日に実施したが、応札者がなく不調となった。

**Q** 最終保障供給契約とは？

**A** 電気事業法の規定により、一般送配電事業者が経済産業大臣に届け出た電気料金を始めとした供給条件が定められている約款に基づき、1年を超えない

範囲で受給者から申し出ることができる契約である。

**Q** 現在の電気料金は？

**A** 市役所庁舎における4月期を例にとると、使用量が1割弱減少しているにもかかわらず、電気料金が約2倍となっている。

**Q** 補正予算を組む必要は？

**A** 総務課長 9月定例会に相応の補正額を計上した補正予算案の提出を予定している。

**Q** 最終保障供給契約が市場価格を下回り、より安価な契約となることで自由競争を阻害している。適正な価格での再入札の検討は？

**A** 総務部長 最終保障供給契約はセーフティネットであると認識している。経済産業省の専門会合においてその対策が議論されている。引き続き、慎重に判断していく。

**Q** 地球温暖化対策実行計画(事務事業編)削減目標数値の改定が必要では？

**A** 大幅に高くなった目標数値達成に向けて見直し作業を行っている

【前年度の報告書に、温室効果ガス排出量の約65%は電気と記載されている】

**Q** 高圧受電契約の入札条件にCO<sub>2</sub>排出量の設定はしているか？

**A** 総務課長 電力供給業務仕様書において「未利用エネルギーの活用及び再生可能エネルギーの導入により、二酸化炭素排出係数の抑制に努めるものとする。」と明記している。

この項目のその他の質問項目

・設備改修時に温室効果ガス排出量を考慮することについて



安田 吉宏 議員



(動画配信)

**Q** 「天神川の桜」はどのように植樹されたか？

**A** 平成11年に天神川緑地を整備した際、桜を210本植樹した。そのうちの70本は「尾張地域植樹祭」において植樹された

**Q** 天神川の通路の整備について

**A** 都市整備部長 天神川の堤防上を通路として整備する場合、河川管理者である愛知県との協議により、整備内容が河川占用等の審査基準を満たし、河川管理上支障がないと判断すれば許可される。



**Q** 「尾張旭市ウォーキングガイドA-map(ええまっぷ)」について

**A** 意見を踏まえてコースの見直し・追加を検討していく

**Q** 今後の「A-map」の展開や活用について

**A** 企画部長 「A-map」で積極的にウォーキングコースを紹介し、子供から大人まで幅広い世代の方々にウォーキングに親しんでいただき、「からだ」や「こころ」の健康づくりに加え、「まち」の健康をも目指し

ている「健康都市」としての本市の魅力を体感していただくツールとして、定着することを願っている。

なお、第6刷から「A-map」に二次元コードを掲載し、コースに対する意見を募集している。



A-map  
二次元コード



意見募集  
二次元コード

その他の質問項目

○国民保護計画について

・概要と位置付けについて  
・災害時との違いについて  
・情報伝達方法について

○通学路について

・通学路の指定と変更について  
・児童生徒の安全指導について  
・市外の通学路について

## 一般質問



早川 八郎 議員



(動画配信)

**Q** 災害時の自治体が直面する課題に避難所の入浴がある。その取組は？

**A** 避難所となる各学校のプールに温水シャワー設備があり、その利用が可能

【避難所での入浴について】

**Q** 災害時の課題の一つに、避難所の入浴がある。入浴することで、感染症予防やストレス緩和などに有効的と言われている。そこで、現在の避難所の入浴状況について伺う。

**A** 総務部長 本市では、入浴施設を設置していないが、近隣の公衆浴場や宿泊施設の開店情報を避難者に伝える。



**Q** 現在と今後の取組は？

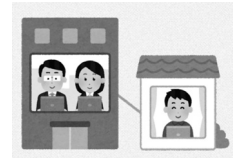
**A** 現在の取組は、避難所となる各小中学校のプールに、温水シャワー設備があり、利用することが可能。今後の取組については、リース形式やトレーラーハウス形式のシャワー室などについて研究してみたい。

【テレワーク型の拠点施設について】

**Q** 人口減少に歯止めをかけるサテライトオフィス誘致として様々な自治体に取り組んでいる。本市の利用率の低い施設をテレワーク型の拠点に整備し、本市で働き、暮らす人を増やすことを進めては？

**A** 市民生活部長 公共施設を

テレワーク型の拠点とする整備は、多様な働き方の推進につながる点もある。大都市に隣接する良好な住宅都市である本市の「売り」を、様々な施策にいかすことができれば、本市で働く人や暮らす人の増加につながると考える。



その他の質問項目

- 行政の市民への情報提供の在り方の変化について
- 公用車の向上について
- 救命講習の在り方について
- ICT化促進による健康面での問題点について
- ドローンの可能性と本市の未来構造との連携について



川村つよし 議員



(動画配信)

**Q** ため池などの上にソーラーパネル設置を

**A** 情報収集に努め慎重に検討を進めたい

**Q** 地球温暖化対策のために、あらゆる手段を貪欲に取り組んでいただきたい。ため池にソーラーパネルを設置する事例があるが、試行的に雨池で実施してみてもどうか。

**A** 市民生活部長 ため池の利水や維持管理面への配慮、ため池の防災・減災機能に影響を及ぼすことがないように設置することが求められる。農業振興の面からすると、ため池に積極的

に設置する考えは、現時点では、持ち合わせていないが、地球温暖化対策の一つの手段であることは認識している。他自治体の情報収集に努め、慎重に検討を進めたい。

**Q** ため池以外にも調整池などでの設置も考えられないか、印場駅北口にある調整池なども設置場所として検討できないか。

**A** 都市整備部長 ため池と同様に、条件が整えば調整池へも設置は可能だと考える。印場駅においては、駅北側のバリアフリー化工事の検討を進める中で、今回の提案も参考にさせていただく。



**Q** 市営バスあさぴー号の路線増加について

**A** 運行見直しの検討の中で移動実態等を分析し、必要性を確認していく

**Q** 高齢化が進む中、市営バスあさぴー号など公共交通の充実が更に求められると考える。運行本数だけでなく、路線を充実させる考えはないか。

**A** 都市整備部長 様々な御要望をいただいており、御要望を踏まえ、利用状況の調査や運行見直しの検討に取り組んでいる。「路線の増加」についても、移動実態等を分析し、必要性を確認していく。

その他の質問項目

- 生ごみ排出抑制について
- フリーランス等への支援制度について

## 一般質問



丸山 幸子 議員



(動画配信)

### Q 児童虐待の対応について

**A** 子どもの命を最優先に対応する

**Q** 児童虐待に関する相談や通告があった場合の市の対応について伺う。

**A** **こども子育て部長** 市に寄せられた相談や通告に関しては子育て相談課が受理し子どもの命を守ることを最優先に考え対応する。虐待が疑われる場合は、至急、家庭訪問を行い、子どもの安否確認を行い、怪我の有無、子どもが保護を求めているかなど内容を確認し緊急性の判断を

する。緊急性が高いと判断した場合は、児童相談所へ送致する。送致しない場合でも、市の関係各課、児童相談所、保健所、警察署、医療機関、小中学校などが構成メンバーとなっている市の「要保護児童対策地域連携会議」で対応等について協議する。

**Q** その後の追跡見守りについて伺う。

**A** 再発しない家庭環境を新たに構築するためには、長期的な視野に立った支援が必要となる。「要保護児童対策地域連携会議」では、本市の事案について毎月関係機関との間で情報共有を図り、各家庭に応じた支援内容を協議している。さらに個別での対応が必要な事案については、個別ケース検討会議で協議するなど、きめ細かく対応することで再発防止に努めている。

### Q 小中学校の女子トイレに設置された生理用品の設置について

**A** 女子児童生徒の安心感につながっている

**Q** 4月から市内の全小中学校女子トイレに設置された生理用ナプキンの現状について伺う。

**A** **教育部長** 設置箇所数としては女子トイレのうち1つの個室に設置し、1校当たりの平均で小学校は3箇所、中学校は7箇所である。

**Q** 使用実績は？

**A** 設置されてから小学校9校の平均でおよそ50枚、中学校3校の平均でおよそ300枚が使用されている。補充の頻度から、活用が定着しつつあり、特に先に設置した中学校において効果が現れていると考えている。



日比野和雄 議員



(動画配信)

### Q 食育月間、食育の日について伺う

**A** 毎年6月は食育月間と定められ、本市では地産地消を重点に取り組んでいる。また、毎月19日は食育の日と定められ、自分や家族の食生活を見直す機会になっている

**Q** あさぴースマイル給食について伺う。

**A** **教育部長** 食物アレルギーにより学校給食が食べられない児童生徒やアレルギー対応給食を食べている児童生徒が、アレルギーのない子ども達と同じ学校給食を食べられるよう、副食から7大アレルゲンを除去した

給食である。

### Q 本市の男女共同参画を取り巻く状況について伺う

**A** 「女性だから」「男性だから」といった固定的な性別役割意識は以前に比べて薄れてはいるものの、依然として残っている

**Q** 今後の取組について伺う。

**A** **市民生活部長** 6月23日からの男女共同参画週間に合わせ市役所ロビーにパネル展示、25日にはジェンダー平等について学べる市民向け講座の開催、図書館では男女共同参画に関する図書等のミニ展示を実施する。

**Q** 今後の課題と目標について伺う。

**A** 男女共同参画社会の実現に向けて、第2次尾張旭市男女共同参画プランの各種施策を計画

的かつ継続的に取り組む。

### Q 不登校児童生徒の人数について伺う

**A** 令和3年度は小学校では55名、中学校では119名となっている

**Q** 不登校児童生徒の居場所づくりについて伺う。

**A** **教育長** 不登校児童生徒に寄り添った支援を進めるには、社会との関わりを少しでも持つことができるような仕組みを作っていくことが大切である。

**Q** 地域未来塾の拡充について伺う。

**A** **教育部長** 順調に事業が実施でき、参加者が増加していること、現在の実施場所が市域東部での開設であることなどから市域中央部、または西部において、地域未来塾を拡充していきたいと考えている。

## 一般質問



片淵 卓三 議員



(動画配信)

### Q 带状疱疹ワクチン接種の助成についての考えを伺う

A 助成を行っている自治体の接種実績等に注視していく

Q 带状疱疹ワクチンの効果について伺う。

A 健康福祉部長 病気に対する免疫力を高め、発症や重症化を抑える効果がある。一方で、接種後の注射部位の腫れや痛み、全身の倦怠感などの副反応も報告されているが、現時点で、ワクチンに関連した重篤な有害事象はまれであることから、有効

性が認められている。

Q 市民から、带状疱疹ワクチンに関し、どのような相談や問合せがあるか伺う。

A 健康課長 ワクチンの有効性や、接種費用、費用助成の有無などについての問合せがある。带状疱疹ワクチンは、50歳以上の方が接種対象となり、生ワクチンと不活化ワクチンの2種類があり、いずれも発症や重症化予防等に一定の効果があること、現在、接種費用の助成は行っていないことなどを説明している。

Q 昨年度、愛知県内では、名古屋市と刈谷市が助成を行ったが、実績について伺う。

A 名古屋市、刈谷市とも50歳以上を対象としており、実績数を両市の対象者数から換算すると、対象者のおよそ1.5%程度の方が助成を受けている。

Q 今年度から新たに助成を開始している自治体の情報について伺う。

A 県内では、大府市、蒲郡市、豊山町、飛島村が今年度から助成を開始している。さらに1市が7月から助成を開始すると伺っている。

Q 尾張旭市で助成制度を実施した場合は、何人くらいが対象者でどのくらいの市民が接種をする見込みとなるか伺う。

A 50歳以上の市民を助成制度の対象とした場合、約3万8600人が対象となる。接種見込みは、助成額によっても接種率は変わるので想定は困難ではあるが、名古屋市や刈谷市などの実績を基に積算すると、初年度は約600人程度と想定する。



山下 幹雄 議員



(動画配信)

### Q 平子の森トライアル事業の進捗とその成果目標について

A 「学校法人」「ドローン事業者」の2者から応募があった

Q 具体的な運用と行政連携について伺う。

A 企画部長 当該事業を開始してから、さほど時間が経過していないため、進捗している取組は多くないが、「学校法人菊武学園」については、提案した企画の実現に向け、建物診断の練習やCO<sub>2</sub>の測定等といった取組を進めている。「ドローン事業者」については、「物流ド

ローン」と呼ばれる大型のドローンの研究開発に向け、現在準備を進めている。

Q その他連携事業は行政からの提案なのか事業者から提案されるのか。また、市民利益を生むような事業展開はあるか。

A 「平子の森の利活用の可能性」の模索以外にも、「共同事業者」との連携事業については、その提案者がどちらであっても、積極的に推進していきたいと考えている。このため、「学校法人」とは、現在進行中の取組を「一般向けの講座」として再編し、市民の皆さんにも提供できないか検討している。また、もう一方の「ドローン事業者」については、「防災」や「地域振興」等の分野での連携について、現在協議を進めている。



平子の森入口



トライアル風景

### その他の質問項目

- 子育て支援策としての学校給食無償化の可能性について
- ウクライナ避難民に対する本市の人道支援について

## 一般質問



花井 守行 議員



(動画配信)

**Q** 医療的ケアの必要な重症心身しょうがい児と、その家族の支援について

**A** 家族の介護負担の軽減が十分に図られていないことは全国的な課題である

**Q** 毎日の学校への送迎の介護軽減の対策(特にひとり親家庭)について伺う。

**A** 健康福祉部長 市の医療的ケアが必要な、重症心身しょうがい児の主な通学先は市内にはなく、近隣では瀬戸市立瀬戸特別支援学校「さくらんぼ学園」があり、現状は、スクールバスがなく、朝は保護者が毎日学校

へ送迎しなければならない。ひとり親などの場合には、移動支援事業で月23回(原則)通学の送迎を認めているが、実績がない。

**Q** 安心した支援を行うために、医療の専門性や経験などを持ち合わせている支援者は足りているか。

**A** 不足している。ヘルパーの方が、喀痰吸引等を医師の指示の下に行うためには、県が指定する喀痰吸引等の研修を受講する必要があるが、その費用が高額で、事業所等の負担が大きいたことが理由で、実際にそういった声も聞いているので、ヘルパー等の育成を始め、移動支援や余暇支援など、医療的ケア児や、その家族を取り巻く地域課題や、その支援策については今年4月に立ち上げた、「医療的ケア児等支援部会」の中で検討する。

**Q** 災害時、特別支援学校と放課後等デイサービスなどの通所施設での避難食などの備蓄について伺う。

**A** 総務部長 災害が発生した場合、そのまま施設にとどまることも想定され、市では日頃から食料などの備蓄について3日分、事業者にもお願いしている。どこまでを自助で備え、どこから公助で備えるべきかは、難しい問題である。

**Q** 日常生活用具で人工呼吸器用の自家発電機や外部バッテリーを給付対象にしている自治体もあるが、当市の考えを伺う。

**A** 福祉課長 本市は給付対象ではないが、災害時のみでなく、日常生活でも必要なので、「医療的ケア児等支援部会」の中で意見を聞くなど、前向きに検討したい。

## 本会議のインターネット配信を パソコン・スマートフォンから是非ご覧ください

本会議での審議や一般質問の内容を多くの皆様にご覧いただくため、インターネットで本会議のライブ中継及び録画映像を配信しています。

### ●閲覧方法

市議会トップページ(下段)

→関連リンク「議会中継(外部サイト)」

### ●ライブ中継

本会議開催中の映像をライブで配信します。

### ●録画映像配信

会議のあった日からおおむね2日後に配信します。

※パソコンやスマートフォンからも御覧いただけます。

